

発行日:2020年5月

編集人:佐渡農業協同組合 営農事業部販売企画課 藤巻
jasadoeinoubu20@dune.ocn.ne.jp

手塩にかけて育てました

4月初旬に、今年度初の高千家畜市場が開催されました。岐阜・福島・山形の各県から多くの購買者が来島し、競りに参加しました。市場には成牛を含め104頭の牛が競り落とされ、最高価格88万1100円となりました。牛を出品した生産者からは「購買者が来てくれただけありがたい」と感想がありました。



梅にも酒にも手間暇かけます

4月初旬、春季うめ栽培管理研修会が開催されました。研修会では、枝の管理を中心に指導が行われました。

また、地域の酒蔵で、梅酒が製造される様子を見学しました。収穫したうめをその日のうちに仕込みに使うため、風味豊かな梅酒ができる事などが説明されました。



今年は暖かいので、
早めに作業して
ください



田植えに向けて準備中!

4月に入り、田植えに向けた春作業が本格的に始まりました。田んぼでは畔塗り作業が行われ、晴れの日には多くのトラクターが稼働していました。畔塗りは田んぼの水が漏れないように土を盛る作業で、泥団子ができる程度に湿らせた土を田んぼの縁に盛って畔を作っていきます。多くの田んぼを所有している生産者は作業を数日に分けて行い、田植えに向けて準備を進めていました。



元気に芽吹け

畔塗り作業と並行して、コシヒカリやこしいぶきの種まきが行われました。土が敷き詰められた苗箱に均一になるように種がまかれ、さらに上から土がかぶせられます。種がまかれた苗箱はビニールハウスなどに並べて、種が芽吹くまで水と温度をしっかりと管理します。生産者は朝早くから機材を準備し、家族総出で土や種を準備していました。



春・爛漫

島内各所の桜の名所で、桜が満開となりました。今年は自粛で花見をする人も疎らですが、青空に溶け込んだ桜の薄桃色の花卉が咲き誇っていました。

